



スーパーハイブリッド

耐塩害・高耐久性コンクリート用混和材

スーパーハイブリッドの特徴

NETIS登録番号 QS-160030-A

- スーパーハイブリッドをセメントの一部と置換することで、塩害対策をはじめとした乾燥収縮・アルカリ骨材反応などに対するコンクリート耐久性を向上することができます。
- ポゾラン反応の促進により、コンクリートの緻密化が促進されるため、塩化物や水のような劣化因子の浸透抵抗性が向上し、耐

塩害性の向上、アルカリ骨材反応の抑制、収縮ひび割れの抑制が図れます。これにより、コンクリート構造物の長寿命化が図れ、ライフサイクルコストの低減が期待できます。

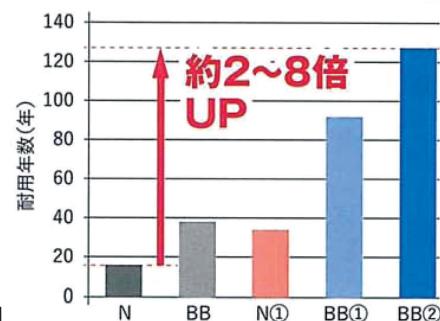
■セメントの一部と置換して使用することで、CO₂排出量の低減が期待されます。

耐 塩 害 性

- スーパーハイブリッドを置換することで耐塩害性が向上し、混和することにより2~8倍(参考値)の耐塩害効果が期待できます。

- N: 普通セメント
- BB: 高炉B種
- N①: 普通セメント 80% スーパーハイブリッド 20%
- BB①: 高炉B種 80% スーパーハイブリッド 20%
- BB②: 高炉B種 70% スーパーハイブリッド 30%

算出された拡散係数に基づく塩分浸透予測結果
(W/B=50%:かぶり厚5cm・Clim1.8kg/m²とした場合)・試験方法「塩分浸透性試験(電気泳動法)」

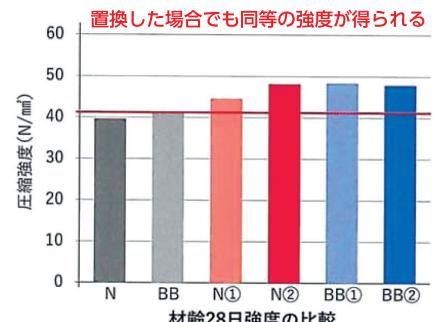


強 度 特 性

- セメントの一部をスーパーハイブリッドで置換しても同等以上の強度を確保できます。

- N: 普通セメント
- BB: 高炉B種
- N①: 普通セメント 80% スーパーハイブリッド 20%
- N②: 普通セメント 70% スーパーハイブリッド 30%
- BB①: 高炉B種 80% スーパーハイブリッド 20%
- BB②: 高炉B種 70% スーパーハイブリッド 30%

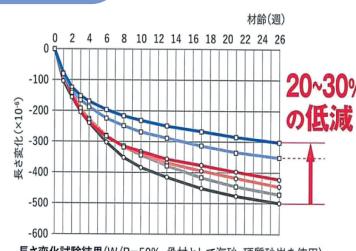
・試験方法(JIS A 1108)「コンクリートの圧縮試験方法」



乾燥収縮特性

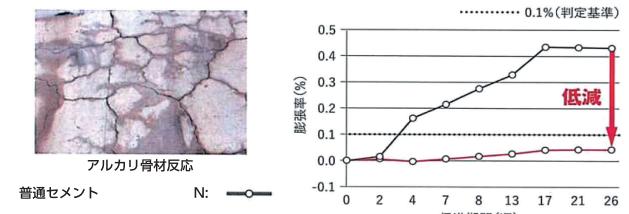
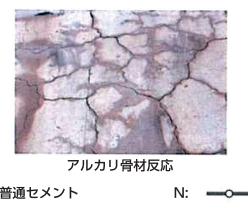
- スーパーハイブリッドの効果により乾燥収縮ひずみが20~30%低減されます。

- N: 普通セメント
- BB: 高炉B種
- N①: 普通セメント 80% スーパーハイブリッド 20%
- N②: 普通セメント 70% スーパーハイブリッド 30%
- BB①: 高炉B種 80% スーパーハイブリッド 20%
- BB②: 高炉B種 70% スーパーハイブリッド 30%



アルカリシリカ反応特性

- セメントの30%をスーパーハイブリッドで置換することにより抑制効果がえられます。



・試験方法(JIS A 1146)「骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」